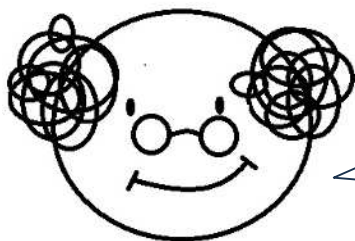
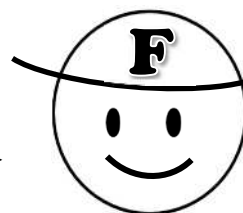


ふ ちゅう てつどう 府 中 の 鉄 道



きょうは^{ふ ちゅう てつどう}府 中 の 鉄 道 の
はなし
話 を しようね。

ぼくが^し知らない
^{でんしゃ}電車もあるのかな。



はじめに

江戸時代、府中は甲州街道の宿場として、多くのものや人
などでにぎわっていました。明治22(1889)年になると、甲
武鉄道(現在の中央線)が開通して、鉄道を利用するために
「国分寺」駅の方に人が集まるようになりました。その後、鉄
道駅がなかった府中にも鉄道が開通します。大正5(1916)
年に駅ができたことによって、まちの発展につながりました。



けいおうせん 京王線



京王線の歴史は、明治43(1910)年に始まりますが、実際に開通したのは大正2(1913)
年です。その頃、京王線は京王電気軌道と呼ばれ、「笹塚」 - 「調布」間を一両編成で運行
していました。そして、大正5(1916)年10月に「府中」駅が誕生すると、府中から
新宿まで約1時間で行けるようになりました。

また、府中から八王子へ鉄道を通すために大正9(1920)年に玉南鉄道株式会社が設

立され、その5年後の大正14(1925)年に玉南鉄道が開業しました。そして大正15

(1926)年12月に京王電気軌道と合併しましたが、この時点では、軌間^{*1}が違うため車

両の乗り入れができず、乗客は「府中」駅で乗り換えていました。そこで、2年かけて線

路の幅を変更する工事などを完了させ、昭和3(1928)年5月22日に、「新宿」-「東

八王子」間を1本の路線で結びました。これが、現在の京王線の原型です。

京王線は長い年月の間に会社の形や名前を変えていきましたが、平成10(1998)年7

月に現在の会社の名前、京王電鉄株式会社としました。

^{*1}軌間とは？

線路のレールの内側の幅のことで、ゲージとも言います。

1435ミリメートルを標準軌とし、それより狭いものを狭軌、広いものを広軌と呼びます。

市内の鉄道の軌間はすべて狭軌ですが、京王線

だけは少し軌間が異なる狭軌になっています。

標準軌 1,435 ミリメートル

狭軌 1,067 ミリメートル

南武線

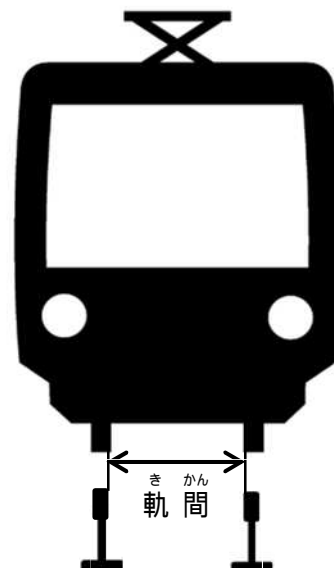
武蔵野線

西武多摩川線

下河原線

狭軌(馬車軌間) 1,372 ミリメートル

京王線



えきしょうかい 駅 紹 介

むさしのだい < 武蔵野台 > (白糸台 4 丁目)

たいしょう かいぎょう とく えきめい ち めい くるまがえし えき
大正 5 (1916) 年に開業した時の駅名は、地名からとった「車 返」駅でした。その
ご しょうわ あた むさしのだい ち むさしのだい えき
後、昭和 34 (1959) 年にこの辺りが武蔵野台地であることから「武蔵野台」駅になりました。
えき にしがわ せいぶ た ま がわせん とお
した。駅の西側には西武多摩川線が通っています。

た ま れいえん < 多磨霊園 > (清水が丘 3 丁目)

たいしょう かいぎょう とく えきめい た ま えき しょうわ し こうえん
大正 5 (1916) 年に開業した時の駅名は「多磨」駅で、昭和 7 (1932) 年に「市公園
ぼ ちまえ えき しょうわ げんざい えきめい た ま れいえん えき
墓地前」駅になり、昭和 12 (1937) 年に現在の駅名である「多磨霊園」駅になりました。
た ま れいえん えき とりつ た ま れいえん きょり えき ちか
「多磨霊園」駅から都立多磨霊園までは 1.5 キロメートルほどの距離があります。駅の近く
とうごうじ ざくら ご み さんもん うつく おお ひと たの
には東郷寺があり、しだれ桜越しに見る山門のながめの美しさは多くの人を楽しませてい
ます。

ひがし ふ ちゅう < 東府中 > (清水が丘 1 丁目)

しょうわ げんざい ひがし ふ ちゅう えき ば しょ りん じ けい ば じょうまえ えき かいぎょう
昭和 10 (1935) 年、現在の「東府中」駅の場所に「臨時競馬場前」駅が開業しま
した。そしてこの駅ができるよりもむかし、たいしょう げんざい ひがしふちゅう えき
大正 5 (1916) 年に現在の「東府中」駅か
やく えき よ はちまんまえ えき べつ えき かいぎょう しょうわ
ら約 500 メートル「府中」駅寄りに、「八幡前」駅という別の駅が開業しています。昭和
12 (1937) 年に「八幡前」駅は駅名が「東府中」駅に変わり、しょうわ
昭和 15 (1940) 年
りん じ けい ば じょうまえ えき ひがし ふ ちゅう えき とうごう げんざい ば しょ ひがし ふ ちゅう えき な まえ
に「臨時競馬場前」駅と「東府中」駅は統合され、現在の場所で「東府中」駅の名前で
かいぎょう
開業しました。

ふ ちゅう
<府中> (宮町 1 丁目)

えきめい むさしのくに こく ふ い み つ たいしょう かいぎょう
駅名は武蔵国の国府を意味する「府中」から付けられました。大正5(1916)年の開業

とう じ えき ち じょう へいせい こう か か しんえきしゃ へい
当時、駅は地上にありましたが、平成5(1993)年に高架化^{*2}されています。新駅舎は平

せい かんとう えきひやくせん せんてい
成10(1998)年に関東の駅百選に選定されました。

こう か か
^{*2}高架化とは？
じ めん どうろ たか せん る つく
地面や道路より高く線路を作ること。

ぶ ばいがわら
<分倍河原> (片町 2 丁目)

たいしょう ぎよくなつどう えき かいぎょう と き えきめい とう じ ち めい
大正14(1925)年に玉南鉄道の駅として開業した時の駅名は、当時の地名にちなん

や しきぶん えき しょうわ ぶ ばいがわら えき えきめい
で「屋敷分」駅でしたが、昭和4(1929)年に「分倍河原」駅になりました。駅名はこの

かまくらばく ふ たお へい あつ につ た よしさだ かまくらばく ふ が た ほうじょうやすいえ たたか ぶ ばい
近くで鎌倉幕府を倒すために兵を集めた新田義貞と、鎌倉幕府方の北条泰家が戦った分梅

こ せんじょう ぶ ばいがわら こ せんじょう つ
古戦場(分倍河原古戦場)から付けられました。

なかがわら
<中河原> (住吉町 2 丁目)

えき ば しょ た まがわ かわら たいしょう えきめい
駅の場所が、むかしは多摩川の川原だったことから、大正14(1925)年にこの駅名が

つ た まがわ じゃり はこ せん る てつきょ しょう わ かまくらかいどう
付けられました。多摩川の砂利を運ぶ線路が撤去され、昭和49(1974)年に鎌倉街道と

けいおうせん りったいこう さ こう か えき
京王線が立体交差^{*3}する高架駅になりました。

りったいこう さ
^{*3}立体交差とは？
せん る どうろ じょう げ ちが
線路や道路が上下に違った
たが まじ
高さで交わること。

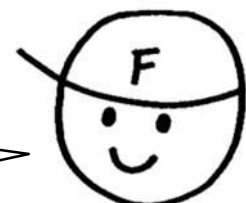
ふ ちゅうけい ば せいもんまえ けいおうけい ば じょうせん
<【府中競馬正門前(京王競馬場線)】> (八幡町 1 丁目)

けい ば じょう せいしき な まえ とうきょうけい ば じょう えき しょう わ かいぎょう
競馬場の正式な名前は東京競馬場といいます。この駅が昭和30(1955)年に開業

と き とう じ しも が わらせん とうきょうけい ば じょうまえ えき えき けいおうせん ぶ ちゅうけい
した時、当時の下河原線に「東京競馬場前」駅という駅があったので、京王線は「府中競

ば せいもんまえ えき えきめい
馬正門前」駅という駅名にしました。

けい ば ひ ひろ
競馬がない日には、広いプラットフォームで
えい が さつえい
映画やドラマの撮影をすることもあつたよ！



しもがわらせん 下河原線



しもがわらせん たまがわ と じゃり はこ
下河原線は、多摩川から取った砂利を運ぶために、

めいじ とうきょうじゃり てつどう
明治43（1910）年に「東京砂利鉄道^{*4}」として、

こくぶんじ しもがわら げんざい あた
「国分寺」 - 「下河原」（現在の南町5丁目の辺り）

かん かいとう
間、7.1 キロメートルが開通しました。

ご たいしょう お たまがわ
その後、大正3（1914）年に起こった多摩川の

こうずい ひがい うんきゅうじょうたい たいしょう
洪水による被害で運休状態になりましたが、大正

ふつきゅう たいしょう こくゆう
5（1916）年に復旧、大正9（1920）年に国有

か こくてつちゅうおうほんせん のち むさしのせん しせん
化されて、国鉄中央本線（後の武蔵野線）の支線と

なまえ しもがわらせん とうきょうけいばじょう
なりました。そして名前も下河原線（東京競馬場

せん よ
線）と呼ばれました。

じゃり はこ ひつよう たいしょう
しかし、砂利を運ぶ必要がなくなったため、大正

しもがわらせん かもつゆそう いちじはいし
10（1921）年に下河原線の貨物輸送は一時廃止に

なりました。

じゃり てつどう
^{*4} 砂利鉄道とは？
おも じゃり はこ し
主に砂利を運ぶために敷かれた
てつどう さ
鉄道のことを指します。
とうきょうじゃり てつどう とうきょうしゅうへん
東京砂利鉄道は東京周辺で、
ほんかくてき じゃり はこ
本格的に砂利を運ぶようになった
さいしょ じゃり てつどう
最初の砂利鉄道だといわれています。

しもがわらせん
下河原線

こくぶんじ
国分寺

ふじみかりしんごうじょう
富士見仮信号場
（北府中）

しもがわら
下河原

とうきょうけいばじょうまえ
東京競馬場前

6

もつ ゆ そう さいかい ぶ じ み かりしんごうじょう しょう わ ふ じ み かりじょうこう
物輸送も再開しました。また、「富士見仮信号場」は昭和24(1946)に「富士見仮乗降

場」、昭和27(1949)年に「北府中信号場」へと駅名を変え、昭和31(1956)年

に駅名が「北府中」駅になりました。

その後、昭和40(1965)年頃に、多摩川からだんだん砂利を取ることができなくなり、

下河原線の貨物輸送も少なくなっていました。

競馬のない平日は、おもに東芝府中工場や日本製鋼所に勤めている人の通勤用電車とし

て利用されてきましたが、昭和48(1973)年4月1日に「府中本町」-「新松戸」(千葉

県松戸市)間に武蔵野線が開通したことにより、前日の昭和48(1978)年3月31日

で、下河原線の「国分寺」-「東京競馬場前」間の旅客運行は終わりました。その後も「北

府中」-「下河原」間の貨物輸送は続けられましたが、昭和51(1976)年9月20日、

全ての運行が終わりました。

現在、この下河原線の線路跡地が、下河原緑道として整備されています。緑道の北側の

道には、2本のレールが埋め込まれていて、かつてここに鉄道が通っていたことが分かるよ

うになっています。



しもがわりょくどう のこ せん ろ あと
< 下河原緑道に残る線路跡 >

せいぶ たまがわせん 西武多摩川線



た ま がわ じゃり じょうきやく はこ た ま てつどう めいじ ろ せん にん か う
多摩川の砂利と乗客を運ぶため、多摩鉄道が明治41(1908)年に路線の認可を受け、

たいしろう さかい げんざい む さ し さい き た た ま げんざい しらいとだい
大正6(1917)年10月に「境」(現在の「武蔵境」) - 「北多磨」(現在の「白糸台」)

かん かいとう
間の5.5キロメートルが開通しました。

たいしろう き た た ま つねひさ げんざい きょうていじょうまえ
そして、大正8(1919)年6月に「北多磨」 - 「常久」(現在の「競艇場前」)まで、

たいしろう つねひさ これまさ の ぜんちょう
さらに大正11(1922)年6月に「常久」 - 「是政」まで延びて、全長8キロメートル

ろ せん かんせい
の路線が完成しました。

しょうわ た ま てつどう きゅうせいぶ てつどう がっぺい せいぶ た ま せん よ
昭和2(1927)年に多摩鉄道は旧西武鉄道と合併し、西武多摩線と呼ばれるようにな

りました。

ちか とうきょう し えい た ま ぼ ち げんざい とりつ た ま れい えん たいしろう かいえん
そして、近くに東京市営多磨墓地(現在の都立多磨霊園)が大正12(1923)年に開園

さんばいしゃ ふ しょうわ た ま ぼ ち ま え えき つく じょうきやく ゆ
して参拝者が増えたことから、昭和4(1929)年に「多磨墓地前」駅を作って乗客の輸

そう ちから い
送にも力を入れるようになりました。

しょうわ これまさ えき けい ば じょう ちか ろ せん えんちょう けいかく
昭和7(1932)年には、「是政」駅から競馬場の近くまで路線を延長する計画もあり

なん ぶ てつどう けいおうでん き てつどう けい ば じょうちか えき かいせつ ほか てつどうがい
ましたが、南武鉄道や京王電軌鉄道など、すでに競馬場近くに駅を開設している他の鉄道会

しゃ ちゅうし しょうわ ぜんせん でん か
社があったため中止となりました。また、昭和25(1950)年に全線電化されるまでは、

じょうき きかんしゃ はし ご む さ し さいかいせん よ せい
蒸気機関車が走っていました。その後、西武武蔵境線と呼ばれることもありましたが(西

ぶ これまさせん よ しょうわ ねん せいぶ た ま がわ せん げんざい
武是政線と呼ばれたこともあったようです) 昭和30(1954)年「西武多摩川線」と現在

めいししょう あらた
の名称に改められました。

とうじ たまがわ じゃり たいりょう の かしゃ きた た ま つねひさ かん きゅう しゃめん いっ き
当時、多摩川の砂利を大量に載せた貨車は「北多磨」 - 「常久」間の急な斜面を一気に
のぼ ぎやくもど かそく さか の き
上ることができなくて、逆戻りして加速をつけて坂を乗り切ったといわれています。

じゃり と あとち きゅう た ま そんりつちゅうがっこうあとち りょう しょうわ
やがて、砂利を取った跡地と旧多磨村立中学校跡地を利用して昭和29(1954)年に

ふ ちゅうきょうていじょう げんざい た ま がわ かいぎょう きょうていかいさいび
府中競艇場(現在はボートレース多摩川)が開業しました。競艇開催日にはたくさん

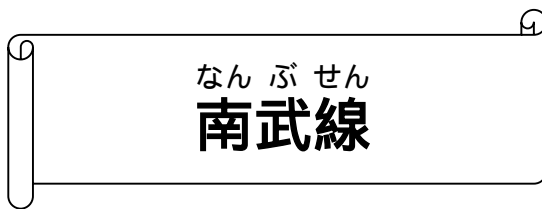
ひと せいふ た ま がわせん りょう
の人たちがこの西武多摩川線を利用しています。

へいせい とうきょうがいこくご だいがく た ま ぼ ち ま え えき
また、平成12(2000)年に東京外国語大学が「多磨墓地前」駅の

ちか いてん よくねん えきめい た ま えき あらた となりえき
近くに移転してきた翌年、駅名が「多磨」駅と改められ、さらに隣駅

きた た ま えき とうきょう あじ もと かいぎょう
の「北多磨」駅も東京スタジアム(味の素スタジアム)が開業した

へいせい しらいとだい えき えきめい
平成13(2001)年に「白糸台」駅という駅名になりました。



なん ぶ せん かいぎょう しゅうねん むか しょうわ
南武線は、令和9(2027)年に開業100周年を迎えます。昭和2(1927)年3月

かいぎょう はじ なん ぶ てつどう よ とうじ きやく の はし りやかくせん かわ
に開業し、初めは「南武鉄道」と呼ばれていました。当時、客を乗せて走る旅客線は「川

さき のぼり と かいふう し ない る せん の よくとし や しき
崎」 - 「登戸」しか開通しておらず、府中市内まで路線が伸びるのはその翌年です。「屋敷

ぶん えき しょうわ かいふう よくとし しょうわ げんざい
分」駅までが昭和3(1928)年に開通し、その翌年の昭和4(1929)年によく現在

おな かわさき たちかわ し ない なん ぶ せん おうだん
と同じ「川崎」 - 「立川」までがつながり、府中市内を南武線が横断するようになりました。

その後、昭和19(1944)年、南武鉄道が国有化され、南武線となります。昭和62(1987)

年には国鉄民営化^{*7・8}によりJR東日本が旧国鉄から南武線を引き継いで、現在にいます。

^{*7}国鉄ってなに？

正式には日本国有鉄道といいます。明治5(1872)年に開業して以来、国が管理、運営してきた鉄道事業を受け継いで、昭和24(1949)年に発足しました。鉄道以外にも、自動車事業や船舶、病院、プロ野球等の経営も行っていました。

^{*8}国鉄民営化ってなに？

正式には国鉄分割民営化といいます。昭和62(1987)年4月1日から国鉄が行っていた仕事は、いくつかに分けられて国に代わって会社が行うことになりました。JR東日本やJR西日本などが仕事を引き継いでいます。

ところで、南武線が何を運ぶために作られたか知っていますか？大正8(1919)年に会

社が電車を走らせるための許可を申し出たときの名前は「多摩川砂利鉄道」でした。元々

は人ではなく多摩川の砂利を運ぶのが主な目的でした。そのため南武線は砂利をすぐ運べる

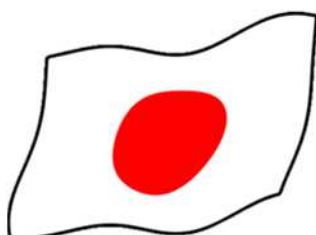
ように多摩川に沿って走っています。南武線は創業以来、貨物輸送が盛んでした。本数は少

なくなりましたが、現在も貨物列車が走っている姿を見ることができます。

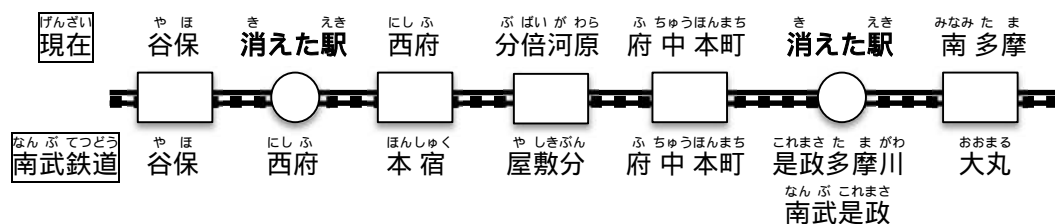
南武線の車両は海外でも活躍しています。平成27(2015)年、南武線で長く運行して

きた205系車両が、インドネシアのジャカルタ首都圏鉄道に引き取られました。ジャカル

タでは、色を塗り替えられた南武線が走っています。



南武線の駅



消えた「西府」駅

南武鉄道時代、「本宿」 - 「谷保」間にも「西府」駅が存在していました。消えた「西府」駅の位置は現在の「西府」駅よりも700メートルほど北側の甲州街道に架かる西府橋と南武線が立体交差する地点です。停留場 → 駅 → 停留場 と移り変わり、最後は国有化と同時になくなりました。

消えた駅は他にも...

南武鉄道時代には存在していて、現在は消えた駅がもう一つあります。「大丸」 - 「府中本町」間に設置された駅(矢崎町三丁目交差点あたり)で、初めは「是政多摩川停留場」と呼ばれていました。それから、「南武是政」駅と名前を変え、停留場 → 駅 → 停留場 と移り変わり、最後は国有化と同時になくなりました。

駅紹介

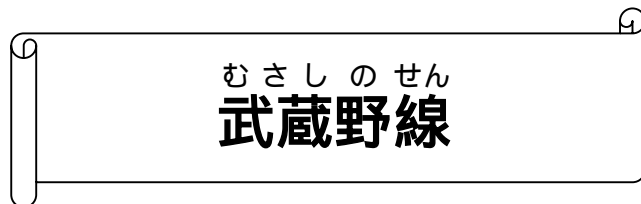
<府中本町> (本町1丁目)

「府中本町」駅は、南武線が昭和3(1928)年に、武蔵野線は昭和48(1973)年に開業しました。駅舎(駅の建物)は橋の上にあります。ホームは改札を入り階段を下りた所にあります。南武線と武蔵野線の乗り換え客で混雑するほか、競馬がある日のみ開かれる臨時改札口もあり、当日はたくさんの乗客でにぎわいます。駅の改札を出て、すぐ右手には「国司館と家康御殿史跡広場」(国史跡 武蔵国府跡 国司館地区)があります。

ぶ ばい が わら けいおうせん しょうかい
<分倍河原> * 京王線で 紹 介 しています。

にし ふ
<西府> (本宿町 1 丁目)

にし ふ えき なん ぶ てつどう しょう わ せつ ち えき とう じ ほんしゆく よ
「西府」駅は南武鉄道が 昭 和 6 (1931) 年に設置した駅で、当時「本 宿」と呼ばれて
いました。利用者の少なさや 隣 駅の「分倍河原」駅と近いため、 昭 和 19 (1944) 年に国
有化された時になくなりました。しかし、平成 21 (2009) 年に J R 東 日本が「西府」駅を
新設して 65 年ぶりに復活しました。北口から徒歩 10 分ほどで国内最古の 上 円下方墳であ
る国史跡 武蔵府 中 熊野神社古墳に立ち寄れます。



むさしのせん ちゅうおう なんぼく はし むさしのせん けんせつ たいしょう じ だい ころ
武蔵野線は、府中市のほぼ 中 央を南北に走っています。武蔵野線の建設は大 正 時代の頃
から計画されていました。当時、首都 東 京 を 中 心として、その周りの貨物を運んでいたの
は山手貨物線でしたが、時代が進むと共に貨物が増え、別の路線が必要となり武蔵野線がで
きました。

しょう わ ふ ちゅうほんまち しんまつ ど ち ば けんまつ ど し かん ぶ ぶんかいつう
昭 和 48 (1973) 年 4 月 1 日に「府 中 本 町」 - 「新松戸」(千葉県松戸市) 間が部分開通
し、 昭 和 51 (1976) 年 3 月 1 日に「鶴見」(神奈川県横浜市) - 「府 中 本 町」間が加わ
りました。さらに 昭 和 53 (1978) 年 10 月 2 日に「新松戸」 - 「西船橋」(千葉県船橋市)
間が開通して 100.6 キロメートルの全線がつながりました。

「府中本町」 - 「西船橋」間は開通した時から旅客輸送もしていましたが、武蔵野南線

と呼ばれる「鶴見」 - 「府中本町」間は、現在も貨物専用です。

東京の都心部から20～30キロメートルを半円形に線路が敷かれています。多くの路線

に乗り換えすることができるため、通勤通学をはじめ多くの人に利用されていますが、全線

を乗り通す利用客は少ないのが特色です。

駅紹介

<府中本町駅> * 南武線で紹介しています

<北府中駅> (晴見町2丁目)

「府中本町」駅と同じように武蔵野線としては昭和48(1973)年の開業ですが、「北

府中」の駅名になる前の歴史は古く、昭和9(1934)年に下河原線の「国分寺」 - 「東京

競馬場前」間5.6キロメートルが開通すると、同じ年に「富士見仮信号場」が開設されま

した。これが「北府中」駅設置の始まりです。第二次世界大戦中は営業休止となりました。

たが、昭和22(1947)年に「国分寺」 - 「東京競馬場」間の営業が再開されると、昭

和24(1949)年に「富士見仮乗降場」として開設され、昭和27(1952)年に「北府

中信号場」となり、昭和31(1956)年には「北府中」という駅名になりました。武蔵

野線開業の前日、昭和48(1973)年3月31日をもって下河原線の「国分寺」 - 「北府

中」そして「東京競馬場」間5.6キロメートルが廃止され、翌日から武蔵野線の「北府中」

駅になりました。

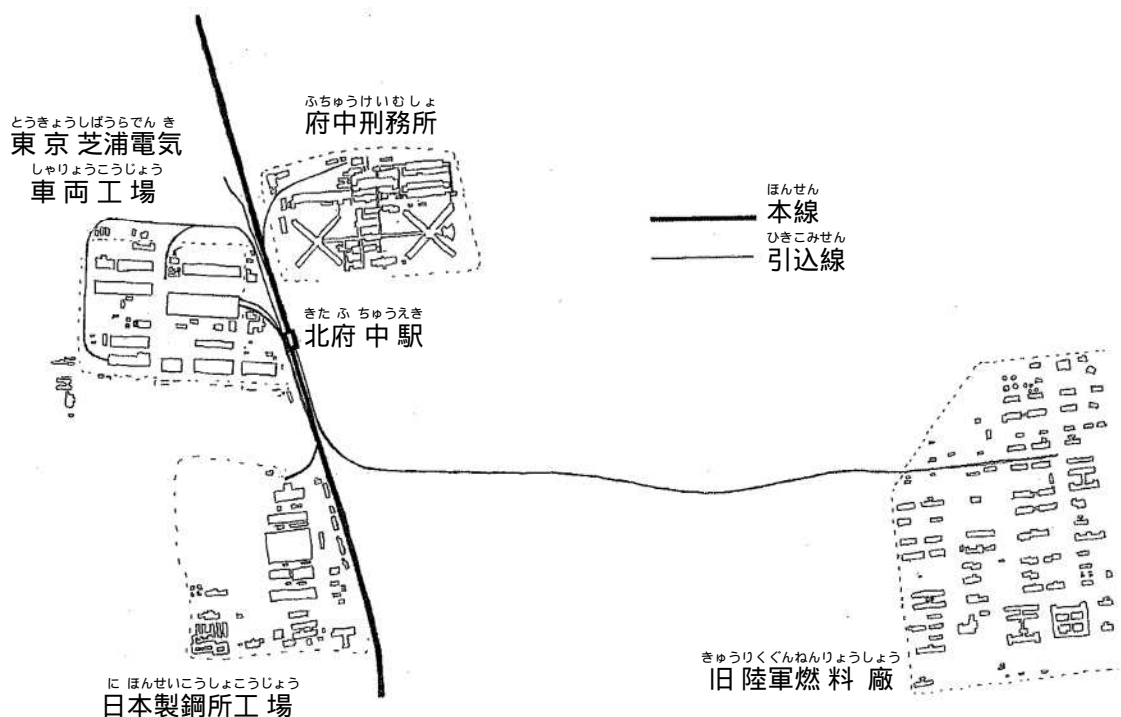
にしがわ どうしば じぎょうしょ
ホームの西側には東芝の府中事業所があり、ホームとの

あいだ りゅうちせん ひきこみせん にほんせいこうしょ
間に留置線*⁹と引込線があります。ほかに日本製鋼所、

りゅうちせん
*⁹ 留置線とは？
えき いちじでき しゃりょう と
駅などで一時的に車両を停め
ておくための線路を言います。

ふ ちゅうけい む しょ きゅうりくぐんねんりょうしょう ねんりょう けんきゅうしょ ひきこみせん げんざい どうしば
府中刑務所、旧陸軍燃料廠（燃料の研究所）への引込線もありましたが、現在は東芝
への線路だけが残っています。

ふ ちゅうけい む しょ ひきこみせん しょうない つく せいぞうひん かんせいひん はこ しゅうせん
府中刑務所への引込線は、所内で作る製造品や完成品を運んだり、終戦
ちよくご きず でんしゃ しょうない しゅうり しゃりょう はこ せんよう
直後には傷ついた電車を所内で修理するために車両を運んだり、専用の
でんしゃ ふくえきしゃ つみ けいむしょ はい ひと こくてつ しゅうり こうじょう はこ
電車で服役者（罪をおかして刑務所に入った人）を国鉄の修理工場まで運
んだりするために使用されていました。



しょうわ ころ きた えき ふ きん ひきこみせん
< 昭和30年頃の北府中駅付近の引込線 >

もっと知りたくなったら読む本のリスト

しよめい ほん なまえ 書名（本の名前）	ちよしゃ ほん か ひと 著者（本を書いた人）	しゅっぱんねん 出版年	ほん せ 本の背ラベル
あるむぜお だい ごう 第95号 (P.4-5 下河原線の跡を求めて)	ふ ちゅう し きょう ど もりはくぶつかん へん 府中市郷土の森博物館 / 編	2011	F069/10/7
た ま だい ごう 多摩のあゆみ 第88号 (P.74-77 多摩の鉄道あれこれ国鉄下河原線)	れき し び じゅつかん たましん歴史・美術館 れき し し りょうしつ へん 歴史資料室 / 編	1997	F213/03/7
けいおうせんれき し さん ぽ 京王線歴史散歩	せき ね はる こ たきざわ ひと し ちょ 関根 治子・滝沢 仁志 / 著	1990	F29/7
た ま てつどうせん こん こん こん 多摩の鉄道沿線古今御案内	いま お けいすけ ちょ 今尾 恵介 / 著	2008	686/1
けいおうでんしゃ かいつう ぶ ちゅうえき 京王電車の開通と府中駅 ふ ちゅう し きょう ど もりはくぶつかん へん 府中市郷土の森博物館ブックレット 18	ふ ちゅう し きょう ど もりはくぶつかん へん 府中市郷土の森博物館 / 編	2016	F686/10/7
しゃしん み せい ぶ てつどう 写真で見る西武鉄道100年		2013	686/3
けいおうでんてつかくえきていしゃ 京王電鉄各駅停車	つじ よし き ちょ 辻 良樹 / 著	2015	F686/00/7
けいおうでんてつ 京王電鉄ものがたり	まつもと のりひさ ぶん しゃしん 松本 典久 / 文・写真	2003	F686/00/7
とうきょう てつどう い さん じょう 東京の鉄道遺産 上 ひゃくよんじゅうねん そうぎょう き へん 百四十年をあるく創業期篇	やま だ としあき ちょ 山田 俊明 / 著	2010	F686/00/7
なん ぶ せん 南武線いまむかし	はら だ かつまさ ちょ 原田 勝正 / 著	1999	F686/93/11
むさし の せん たんけん 武蔵野線まるごと探見	み よし よしぞう かきもと やすひろ ちょ 三好 好三・垣本 泰宏 / 著	2010	F686/93/11

「府中の鉄道」 こども府中はかせ No.6

2017年3月発行

2025年3月改訂

府中市立図書館 編集・発行

<https://library.city.fuchu.tokyo.jp>

さがしている本が見つからないときは、図書館の人にきいてみましょう。

